

東京外国為替市場関係者の皆様、

本日（11月1日）、シンガポール外国為替市場委員会（SFEMC）、EMTA Inc.及びNY外国為替市場委員会が共同発起人となり、東京外国為替市場委員会および香港外国為替市場委員会が協賛する形で、CNY、IDR、INR、KRW、PHP、及びTWDのアジア6通貨のNDF取引に関する新しいドキュメンテーションを発表いたしました。

これは、主にアルゼンチン危機を参考に、長期間市場機能が麻痺した場合のNDF取引の決済をより効率化するために見直されたもので、この2004年Templateは2001年にEMTAにより発表されたもの、及びISDAにより1998年に発表されたFX and Currency Option DefinitionsのAnnex Aを修正するものです。

これらの新しい書面は、発効日を12月1日に予定しており、各co-sponsorのWebsite上に公開されております。是非ご覧いただけますようお願い申し上げます。

東京外国為替市場委員会